

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表 2019年

法人名	かがやき長野	代表者	田中夏子	法人・事業所の特徴	「ひとりぼっちにならない、しない」をスローガンに持つ「長野県高齢者生活協同組合」を母体に持ち「地域のより所」を目指して設立しました。通い・訪問・宿泊、それぞれのサービスを馴染みのスタッフがを行うことで、利用者に安心感を持ってもらうことが出来ます。また、利用者の都合による通いから訪問、訪問から泊まり等、サービスの変更依頼にも柔軟に対応して家族の負担を軽減します。
事業所名	かがやきの家笹部	管理者	石川真奈美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	7人	1人	人	1人	人	1人	人	人

	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	認知症実践者研修の2名受講を計画。認知症対応レベルを上げる。	実践者研修は1名受講。必要な内部研修も確実に実施できた。キャリアパス制度を行い自己評価と個人面談も行っている。	1スタッフ1研修は難しいかもしれないが内部研修等で全員が研修を受ける機会を作る事は大切。資格研修も大切だが人との関わり合いの仕事なので接遇等学ぶ機会も大切。	質の向上のため計画を立てて研修に取り組んでいく。引き続き実践者研修の受講を進める。
B. 事業所のしつらえ・環境	介護事業所として地域の方に知っていただく様に務めていく。 【外部からから見て判るように看板を設置する】	地域から見学等も含め問い合わせは増加。知られる存在になってきている。看板等の設置は見合わせた。判り易いパンフレットを作成し民生委員さんに届けた。	介護度に区分されているが、必要なサービスを必要な分使えることを知らない人もいる。 「小規模多機能型居宅介護」の看板はあった方が判り易い。	「小規模多機能型居宅介護」のサービスについてパンフレットを使用し更に地域に知らせていく。看板について意見を頂いたので設置に向けて検討していく。
C. 事業所と地域のかかわり	サポーターキャラバンの事業所での実施や事業所から地域への発信。地域の防災訓練や文化展への参加。	職員体制が取れず地域行事への参加や地域に呼びかけて事業所での学習会の開催等出来ていない。	事業所での行事の際、市民タイムス等に取材をしてもらいスタッフの募集のPRにもつなげてみてはどうか。	マスコミへの取材依頼やチラシ配布等事業所のPRを行っていく。文化展への利用者作品の出展を進める。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域の様子を把握する為の情報収集に努める。困りごと相談会の開催等検討していく。 【利用者の地域資源を確認】	オレンジカフェへの協力は出来た。11月文化祭への参加も予定していたが体制がなく不参加となってしまった。	オレンジカフェの送迎とても助かっている。余裕があれば傾聴の参加もお願いしたい。 11月の文化展は出品者も減っているので利用者の作品など出展して欲しい。	傾聴を含めオレンジカフェ参加を強める。引き続き利用者の地域資源を確認していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	家族参加を強め利用して見ての事業所への期待や改善点を把握する。出席できない家族には事前に意見を聞く。	家族には呼びかけたが未参加となった。毎月の訪問等での情報収集は出来ている。	昭和初期生まれの人は自分が介護を受けるといふ事に悪いイメージを持っている人が多い。誰でもがサービスを受けるのが当たり前というイメージに変えていければ良いと思う	事例検討などを通じて「小規模多機能居宅介護」のサービスについて地域の役員や利用者家族の理解を深めていく。
F. 事業所の防災・災害対策	非常災害対策計画書を作成したので取組みを知らせていく。 【災害に備え地域役員との連絡網を作る】	副町会長さんに情報を頂き笹部地区の課題を教えて頂いた。水害に対してはハザードマップを活用し職員間で情報共有を行った。	松本市より来年度のハザードマップは新しい物に変わる予定との情報があった。災害時の予測・想定をきちんと行った方が良いと思う。	災害時の想定を行い近隣との協力関係を再確認する。何が何処にあるのか等、地域の情報を確認しておく。

- 外部評価（地域かかわりシート①）は、A～Fまでの6項目となります
- 項目Aについては「事業所自己評価」をお読みいただき、適当と思われる箇所に☑を記入ください。わかりにくい場合は、運営推進会議当日に事業者から説明がありますので、空欄のまま持参し、当日記入いただいても結構です。
- B～Fの項目については、当日までに下記チェック項目の適当と思われる箇所に☑を記入し、運営推進会議当日に持参してください。
- 当日は、運営推進会議メンバーの記入したチェック箇所を集計しながら、ご意見をいただく予定です。
- 下記チェックに基づき、当日お聞きしたい内容は、各項目の「できている点」「できていない点」「次回までの具体的な改善計画」の3点です。
- 地域かかわりシートへの皆様のご意見は、事業所の質の向上につながり、皆様の地域にとって必要な拠点となるために大変重要です。事業所を育て、認知症になっても、介護が必要となっても、安心して暮らし続けることができる町をともにつくるために、ご理解、ご協力をお願いします。

A. 事業所自己評価の確認（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？ ※常勤とは週32時間以上勤務の職員（正規・嘱託・臨時職の別ではない）	6		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されて実施していることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	4		2
3	前回の改善計画に対して、具体的な取組みが行われていましたか？	6		
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	3		3

B. 事業所のしつらえ・環境（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】 引き続き介護事業所として地域の方に知っていただくように務めていく。	6		
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	4		2
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	6		
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	6		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	6		

C. 事業所と地域のかかわり（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】 認知症サポーターキャラバンの事業所での実施が出来る様にしていく。 泊まりや訪問の体勢を整え、急な受け入れも含め在宅支援を強める。	4		2
1	職員はあいさつできていますか？	6		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	4		2
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	5		1
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	6		

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】 地域の様子を把握するために積極的に情報収集に努める。 地域の方が困りごとの相談に来られるようにしていく。相談会の開催なども検討していく。	4		3
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	5	1	
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	4		2
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	6		
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	5		1

E. 運営推進会議を活かした取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】 家族への参加呼びかけを強め、利用してみての事業所への期待や改善点などを把握していく。	3		3
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	6		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	5		1
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	6		
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	5		1

F. 事業所の防災・災害対策（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】 非常災害時対策計画書を作成したので、事業所の取り組みについて知らせていく。	4		2
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	2	2	2
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	2	1	3
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？		6	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	4		2

以上で終了です。ありがとうございました。